

CASBEE-建築(新築)2016年版

鳥取城北中学校

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.7
Q1 室内環境							0.40			3.7
1 音環境						4.4	0.15			4.4
1.1 室内騒音レベル		NC≤35を目標				5.0	0.40			
1.2 遮音						4.5	0.40			
1 開口部遮音性能		外部建具大半がT-2性能				4.0	0.43			
2 界壁遮音性能						-	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		LL-45				5.0	0.29			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		LH-45				5.0	0.29			
1.3 吸音						3.0	0.20			
2 温熱環境						3.2	0.35			3.2
2.1 室温制御						3.4	0.50			
1 室温						3.0	0.60			
2 外皮性能		外壁U値:0.40、窓U値:3.05、窓η値:0.42→SC:0.42/0.87=0.48				4.0	0.40			
3 ゾーン別制御性										
2.2 湿度制御						3.0	0.20			
2.3 空調方式						3.0	0.30			
3 光・視環境						3.6	0.25			3.6
3.1 屋光利用						4.2	0.30			
1 屋光率		普通教室(CR) 屋光率3.6%				5.0	0.60			
2 方位別開口						3.0	0.40			
3 屋光利用設備						3.0	0.40			
3.2 グレア対策						4.0	0.30			
1 屋光制御		大半の居室が南面・庇+カーテンによる制御、ブラインド制御				4.0	1.00			
3.3 照度						3.0	0.15			
3.4 照明制御						3.0	0.25			
4 空気質環境						4.1	0.25			4.1
4.1 発生源対策						5.0	0.50			
1 化学汚染物質		全てF☆☆☆☆				5.0	1.00			
4.2 換気						2.3	0.30			
1 換気量						3.0	0.33			
2 自然換気性能						3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.33			
4.3 運用管理						4.5	0.20			
1 CO ₂ の監視		建築主の設備機器運用を添付				4.0	0.50			
2 喫煙の制御		学校敷地内禁煙				5.0	0.50			
Q2 サービス性能						-	0.30			3.9
1 機能性						4.4	0.40			4.4
1.1 機能性・使いやすさ						4.0	0.40			
1 広さ・収納性										
2 高度情報通信設備対応										
3 バリアフリー計画		移動等円滑化基準を満たす				4.0	1.00			
1.2 心理性・快適性						5.0	0.30			
1 広さ感・景観		天井ルーバー一面でCH2.7m確保。被覆天井部は2.7m超				5.0	0.50			
2 リフレッシュスペース										
3 内装計画		機能性の中にも木質のあたたかみを感じられる内装計画				5.0	0.50			
1.3 維持管理						4.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		内外装とも防汚性の高い材料を採用				5.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		各階男女別SK、教室清掃ロッカー設置、PS・EPSは共用部から維持				4.0	0.50			
2 耐用性・信頼性						3.5	0.30			3.5
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						4.3	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		非住宅木造建築物の耐久性評価取得				5.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		BELCAデータ集を参照				5.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		BELCAデータ集を参照				4.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用。				5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20			
2.4 信頼性						3.8	0.20			
1 空調・換気設備		換気設備は室毎に系統を区分。空調熱源は電気と都市ガスの2種類				5.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		節水型を採用。既設受水槽は2槽式。既設屋外散水用に井水利用				4.0	0.20			
3 電気設備						3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20			
5 通信・情報設備		通信・情報設備信頼性向上の各種施策				4.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.5	0.30				3.5
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30				
1	階高のゆとり	階高4.0m	5.0	0.60				
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.26	4.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30				
3.3 設備の更新性			3.2	0.40				
1	空調配管の更新性	躯体を痛めることなく更新可能	3.0	0.20				
2	給排水管の更新性		4.0	0.20				
3	電気配線の更新性		3.0	0.10				
4	通信配線の更新性		3.0	0.10				
5	設備機器の更新性		3.0	0.20				
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20				
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30				3.6
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30				2.0
2 まちなみ・景観への配慮		景観計画区域の規定に則った計画とし、地域性のある砂壁状外壁等	5.0	0.40				5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30				3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	奥行きが深い庇、軒天・袖壁を木質化したバルコニーで快適性を向上	5.0	0.50				
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性								4.0
LR1 エネルギー			-	0.40				4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPIm:0.62	5.0	0.20				5.0
2 自然エネルギー利用			2.0	0.10				2.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.54	5.0	0.50				5.0
4 効率的運用			3.0	0.20				3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00				
4.1	モニタリング		3.0	0.50				
4.2	運用管理体制		3.0	0.50				
集合住宅の評価								
4.1	モニタリング							
4.2	運用管理体制							
LR2 資源・マテリアル			-	0.30				4.1
1 水資源保護			3.4	0.20				3.4
1.1 節水		擬音、節水型便器を採用	4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60				
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70				
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30				
2 非再生性資源の使用量削減			4.5	0.60				4.5
2.1 材料使用量の削減			-	-				
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		製材(垂木・間柱)、集成材(柱・梁・筋交い)、合板(床版)	5.0	0.22				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床シート、フリーアクセスフロア、大小便器	5.0	0.22				
2.5 持続可能な森林から産出された木材		主に鳥取県産材(スギ・ヒノキ)を使用	5.0	0.11				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		OAフロア・可動間仕切の採用、梁貫通無し	5.0	0.22				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20				3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		壁タイルの接着剤に有害物質を含まない材料を使用	4.0	0.30				
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70				
1	消火剤		-	-				
2	発泡剤(断熱材等)	グラスウール使用、およびODP=0、GWP50未満の断熱材使用	4.0	0.50				
3	冷媒		3.0	0.50				
LR3 敷地外環境			-	0.30				3.7
1 地球温暖化への配慮		参照値に対し77%に削減	3.9	0.33				3.9
2 地域環境への配慮			3.5	0.33				3.5
2.1 大気汚染防止		燃焼機器なし	5.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25				
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25				
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25				
3	交通負荷抑制	駐輪場・スクールバス駐車場を確保。バス配慮の敷地出入口	4.0	0.25				
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25				
3 周辺環境への配慮			3.7	0.33				3.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-				
1	騒音		-	-				
2	振動		-	-				
3	悪臭		-	-				
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.4	0.67				
1	風害の抑制		3.0	0.60				
2	砂塵の抑制	グラウンド:人工芝、その他校庭は芝生	5.0	0.20				
3	日照阻害の抑制		3.0	0.20				
3.3 光害の抑制			4.4	0.33				
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインチェックリスト過半を満たし、屋外照明なし	5.0	0.70				
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30				